
さあ、森からはじまる未来へ
大阪・関西万博 住友グループパビリオン
「住友館」 建築外観完成プレスプレビュー

住友グループでは、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催会場である大阪・夢洲で建設中の「住友館」の建築外観完成にともなって、建築外観のお披露目の場として2025年1月23日（木）にプレスプレビューを実施します。



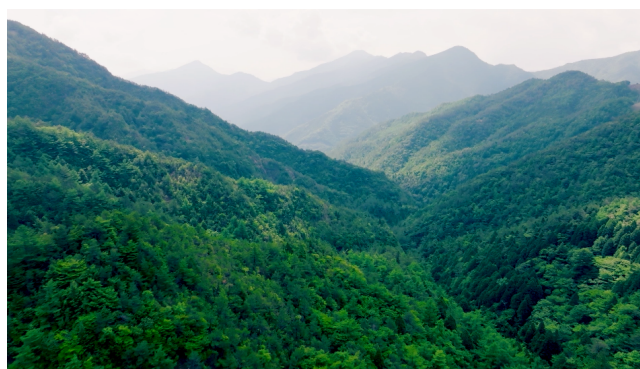
また、国内外で活躍する様々なクリエイター/アーティストや企業と共にコンテンツなどを開発する「共創コラボレーション」によって実現した「アテンダントユニフォーム(YOHEI OHNO)」と館内で展示される「オリジナル葉っぱ切り絵アート作品(リト@葉っぱ切り絵)」のお披露目も合わせて実施いたします。

【住友館 建築外観】

住友館は、「1本1本の木々を無駄にしたいくない、1本1本のいのちを大切にしたい」との思いから、住友グループが保有する「住友の森」で先人たちが植えた木々約1000本を木材資源として余すところなく利用し、木のぬくもりと安らぎのある「住友館」をつくりあげています。

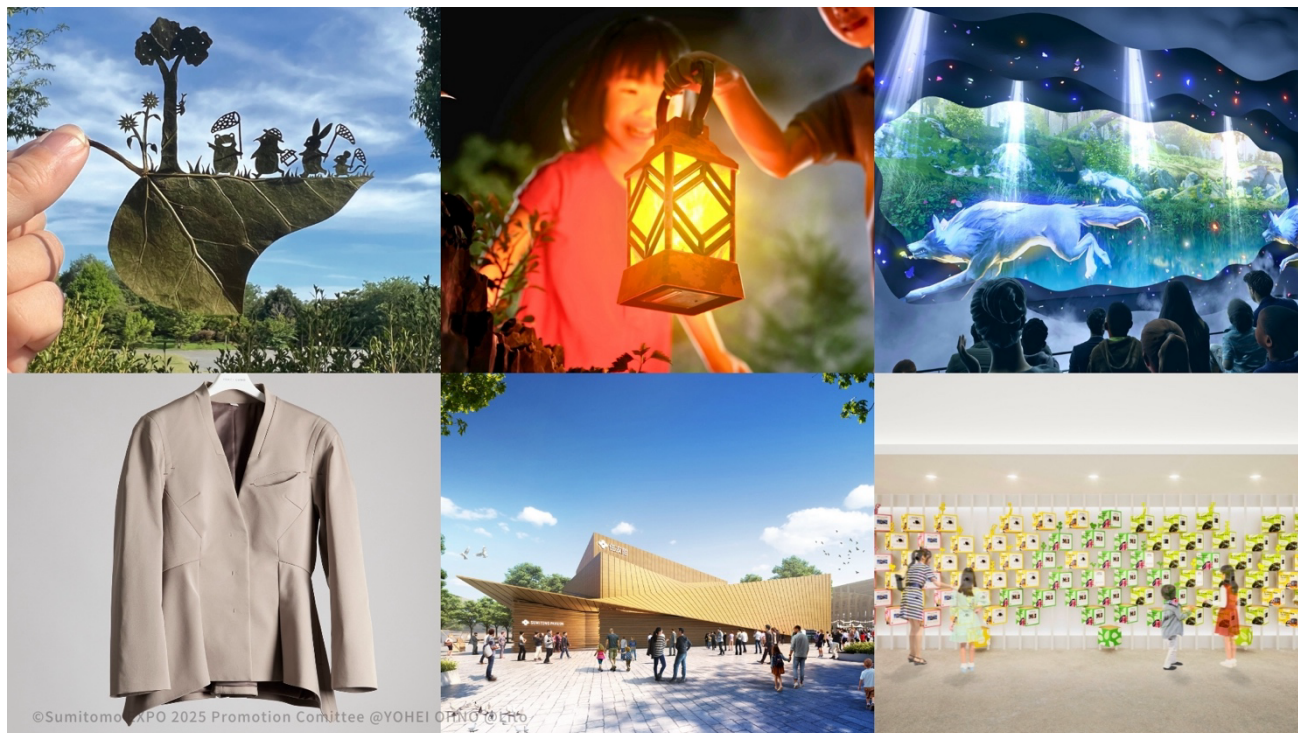


住友の発展の礎である四国”別子の嶺”から着想を得て、山々が連続するシルエットを表現した屋根や外壁には「住友の森のヒノキ」を合板へ加工し活用。また、建物の入口周辺の外壁には、大阪万博が開催された1970（昭和45）年に植えた「住友の森のスギ」を活用し、木々を積み重ねるように取り付けることで「樹木の年輪や大地の地層」を表現しています。



【共創コラボレーション】

住友館では国内外で活躍する様々なクリエイター/アーティストや企業と共に、ユニフォームや展示コンテンツ、オフィシャルグッズなどの開発する「共創コラボレーション」を進めています。



【大野陽平 (YOHEI OHNO デザイナー)】

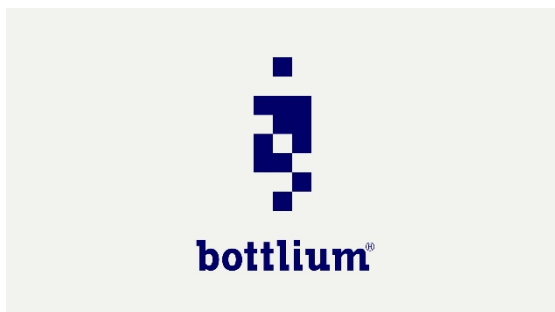


※このたび、住友館現地にて住友館アテンダントユニフォーム初のお披露目となります。

開催期間中に国内外から住友館を訪れる多くの方々に、パビリオンの案内や各種接遇等を行うアテンダントユニフォームのデザインは、「独自性のあるフォルム作りと実用性」をコンセプトに、古今東西のアート、建築、彫刻やプロダクトにインスピレーションを得た、自由な発想とフォルムデザインが持ち味のブランド「YOHEI OHNO」(ヨウヘイ オオノ) デザイナーの大野陽平氏との共創コラボレーションによって実現されました。

今回、大野氏にとって初めてのユニフォームデザインとなる住友館アテンダントユニフォームは、YOHEI OHNO らしい特徴的なスタイルと、スタッフの運営面における機能性を融合させたデザインとなっています。また、住友商事グループ企業が全国の小売店などで独自に回収されたペットボトルからエコ・リサイクル工程で再生された最高品質の特殊長繊維用ペレット「bottlium® (ボトリウム)」と、住友化学が開発した吸熱と放熱の特性を併せ持ち人々の暮らしの快適性向上や省エネルギー化への寄与が期待できる温度調節樹脂「コンフォーマ®」を用いた繊維を採用しています。

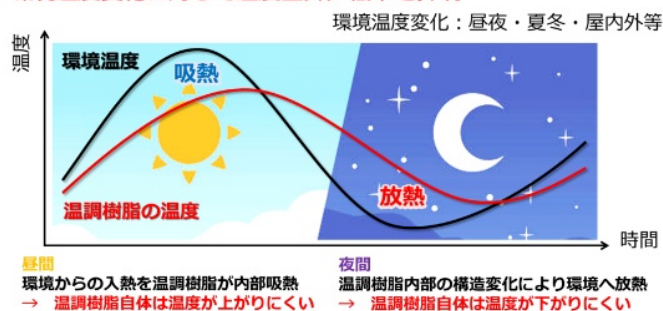
■bottlium® (ボトリウム) | <https://bottlium.tomra.co.jp/>



■コンフォーマ® | https://www.sumitomo-chem.co.jp/func_polymer/product/heatorage/

温調樹脂の効果イメージ

- 環境温度変化に対して温度上昇/低下を抑制



<プロフィール>

■大野陽平（オオノヨウヘイ）氏

「YOHEI OHNO」デザイナー。文化服装学院卒業後、ノッティンガム・トレント大学の奨学金を得て渡英。帰国後の2014年に自身のブランド「YOHEI OHNO」を立ち上げる。「独自性のあるフォルム作りと実用性」をコンセプトに、古今東西のアート、建築、彫刻やプロダクトをインスピレーションとし、伝統にとらわれない自由な素材使いやフォルムアプローチを通じて、未来に向けた新しい人間像や生活観を探求している。

YOHEI OHNO

公式サイト：<http://yoheiohno.com/>

インスタグラム：[@yohei_ohno](https://www.instagram.com/yohei_ohno)

【リト@葉っぱ切り絵】



葉っぱを素材にして繊細な絵アートを制作している「葉っぱ切り絵アーティスト」のリトさん。2020年から独学で制作をスタートし、SNSに毎日のように投稿する葉っぱ切り絵が注目を集めているアーティストです。

1枚の葉っぱをナイフで切り抜くことで表現される、生きものたちの優しい世界。森のさまざまな生きものたちの様子を描いたリトさんの作品を目にしたスタッフが、「森や自然、いのちをテーマにした住友館にぴったり」とラブコールを送って実現したのが今回の共創コラボレーションです。

コラボレーションでは「住友館オリジナルの葉っぱ切り絵作品」の制作・展示が行われます。また、住友館の展示体験「UNNOWN FOREST」の中にも、リトさんの作品を用いた展示体験の提供を予定しています。

■住友館オリジナルの葉っぱ切り絵作品

住友館のテーマである「森」の中で、共生する生物を選定して制作。オリジナルの新作として4点が出展されます。

リトさんコメント：「作品を見る人々それぞれの感性でストーリーを考えてもらいたいです。」

※このたび、住友館現地にてオリジナル作品の初のお披露目となります。



■ リト@葉っぱ切り絵とのコラボレーション展示体験イメージ

住友館の展示体験である UNKNOWN FOREST 内にて提供。



<プロフィール>

■リト@葉っぱ切り絵

葉っぱ切り絵アーティスト。1986年生まれ。神奈川県出身。自身のADHDによる偏った集中力やこだわりを前向きに活かすために、2020年より独学で制作をスタート。SNSに毎日のように投稿する葉っぱ切り絵が注目を集める。「情熱大陸」(TBS系)、「徹子の部屋」(テレビ朝日)、「あさイチ」(NHK)といったTV番組や新聞など国内メディアで続々と紹介されるほか、世界各国のメディアでも、驚きをもって取り上げられる。作品集『いつでも君のそばにいる 小さなちいさな優しい世界』『葉っぱ切り絵絵本 素敵な空が見えるよ、明日もきっと』『葉っぱ切り絵いきものずかん』、ストーリー絵本『まねっこカメレオン』(いずれも講談社)ほかが反響を呼ぶ。全国各地にて展覧会を開催するほか、2024年、個人美術館「LITO LEAF ART MUSEUM FUKUSHIMA」がオープン。<https://lito-leafart.com/>



【素材提供に関して】

◆本日発表の「住友館」に関する素材は下記URLよりダウンロードできます。

<https://bit.ly/3WoMc57>



※画像使用の際は © Sumitomo EXPO2025 Promotion Committee、©YOHEI OHNO、©Lito の表記をお願いします。

- ・大野陽平(YOHEI OHNO) : ©YOHEI OHNO
- ・リト@葉っぱ切り絵 : ©Lito